

小説で読む名古屋

作成:2010年3月

作品名	著者	掲載されている資料	名古屋度	コメント
小説信長秀吉家康	愛知県文化財保存振興会	『小説信長秀吉家康』（泰文堂） 『信長・秀吉・家康 読物形式・史実考証』（泰文堂）	☆☆☆	
空と風とパンと 名古屋物語	青井日出子	『空と風とパンと 名古屋物語』（青井日出子）	☆☆☆	
銀盤のトレース	碧野圭	『銀盤のトレース』（実業之日本社）	☆☆☆	名古屋が舞台のフィギュア小説。
フルーツドロップ	あかねるつ	『フルーツドロップ』（新日本出版社）	☆☆☆	児童書。主人公は名古屋駅裏につづく街にある小学校に通う。
夢咲劇団ただいま参上	あかねるつ	『夢咲劇団ただいま参上』（講談社）	☆☆☆	児童書。主人公の家は上社。大衆劇団の名古屋公演に居候。
学校のセンセイ	飛鳥井千砂	『学校のセンセイ』（ポプラ社）	☆☆☆	金山、名駅など。コメダらしき店も登場。
幼君暗殺事件	池端洋介	『幼君暗殺事件』（大和書房）	☆☆☆	尾張徳川家の豊奉行を主人公にした時代小説。「元禄豊奉行秘聞」シリーズ
不連続線	石川真介	『不連続線』（東京創元社） 『不連続線』（光文社）	☆☆☆	名古屋で事件が起こるミステリー。高須観音＝大須観音か？
震災列島	石黒耀	『震災列島』（講談社）	☆☆☆	東海地震発生
紅雪録 紅雪録・続	泉鏡花	『鏡花全集第8』（岩波書店）	☆☆☆	雪で名古屋駅に足止めされた紳士の話
名古屋嫁入り物語	岩中祥史	『名古屋嫁入り物語』（河出書房新社）	☆☆☆	稲葉地町、東山動物園、車道の結納屋、名古屋駅の服部家具、大曾根の平安閣などが出てくる。名古屋弁や名古屋独自の事柄についての解説付。
暑中休暇の日記	宇野浩二	『宇野浩二全集第9巻』（中央公論社）	☆☆☆	広小路が舞台の童話
風変りな一族	宇野浩二	『宇野浩二全集第7巻』（中央公論社）	☆☆☆	広小路のカフェ・パリウスタが舞台。
ペーパーシティを歩く	海野弘	『リヨンの夜』（河出書房新社）	☆☆☆	市庁舎、名駅コンコース、旧中村図書館などが出てくる。
石榴	江戸川乱歩	『江戸川乱歩推理文庫16』（講談社）	☆☆☆	名古屋市内目抜き通りのT町で殺人事件が起きる。
幽鬼の塔	江戸川乱歩	『幽鬼の塔・恐怖王』（春陽堂書店） 『少年探偵 江戸川乱歩全集43』（ポプラ社）（児童書）	☆☆☆	事件の背景を調べに名古屋へ。市立図書館で新聞を調べる。
シャドウゲーム	大沢在昌	『シャドウゲーム』（徳間書店）	☆☆☆	名古屋を舞台にしたサスペンス。名古屋駅、栄など。
甘栗と金貨とエルム	太田忠司	『甘栗と金貨とエルム』（角川書店）	☆☆☆	名駅前にある探偵社の高校生探偵の活躍。
甘栗と戦車とシロノワール	太田忠司	『甘栗と戦車とシロノワール』（角川書店）	☆☆☆	『甘栗と金貨とエルム』の続編。
暗闇への祈り	太田忠司	『暗闇への祈り』（角川春樹事務所）	☆☆☆	主人公の事務所が名古屋駅にある。「探偵藤森涼子の事件簿」シリーズ
遊戯の終わり	太田忠司	『遊戯（ゲーム）の終わり』（実業之日本社）	☆☆☆	「探偵藤森涼子の事件簿」シリーズ
歪んだ素描	太田忠司	『歪んだ素描』（角川書店）（角川春樹事務所）	☆☆☆	「探偵藤森涼子の事件簿」シリーズ。
倫敦時計の謎	太田忠司	『倫敦時計の謎』（祥伝社）	☆☆☆	栄セントラルパーク、ロンドン時計除幕式での殺人事件
尾崎久弥小説集	尾崎久弥	『尾崎久弥小説集』（愛知県郷土資料刊行会）	☆☆☆	名古屋が舞台の短編小説集。
淑女夜河を渡る	小野稔	『淑女夜河を渡る』（東京文芸社）	☆☆☆	広小路が舞台
名古屋恋愛物語	海越出版社編集部	『名古屋恋愛物語』（海越出版社）	☆☆☆	東山動物園、名古屋駅、納屋橋などが出てくる。短編恋愛小説集。
吉宗と宗春	海音寺潮五郎	『吉宗と宗春』（文芸春秋）	☆☆☆	徳川吉宗と徳川宗春の対立が描かれている。

作品名	著者	掲載されている資料	名古屋度	コメント
徳川宗春尾張宰相の深謀	加来耕三	『徳川宗春尾張宰相の深謀』（毎日新聞社）	☆☆☆	
名古屋わらべうた幽霊殺人事件	風見潤	『名古屋わらべうた幽霊殺人事件』（講談社）	☆☆☆	ライトノベル。テレビ塔、大須のいろいろ店、名駅マリオットアソシアホテル、名古屋港、本山が出てくる。「京都探偵局」シリーズ。
緑の島はるかに 台湾少年工物語	かつおきんや	『緑の島はるかに』（大日本図書）	☆☆☆	児童書。昭和19年、三菱重工大江工場（笠寺）に動員された少年たちの物語。名古屋城、大須、熱田なども登場。
尾張の宗春	亀井宏	『尾張の宗春』（東洋経済新報社）	☆☆☆	
銀三十枚	国枝史郎	『国枝史郎伝奇全集巻6』（未知谷）	☆☆☆	鶴舞公園が出てくる。
ちんじゃら風伝	桑原恭子	『ちんじゃら風伝』（風媒社）	☆☆☆	終戦直後の名古屋が舞台
ぞうれっしゃがやってきた	小出隆司	『ぞうれっしゃがやってきた』（岩崎書店）	☆☆☆	児童書。第二次大戦後、東山動植物園の実話。
風流魔	幸田露伴	『二日物語・風流魔』（岩波書店）	☆☆☆	大津町に住む装剣金工安堂信時の物語。
町が海におそわれた 伊勢湾台風物語	神山征二郎	『町が海におそわれた』（学習研究社）	☆☆☆	
疑問の黒枠	小酒井不木	『小酒井不木探偵小説全集第5巻』（本の友社）	☆☆☆	鶴舞公園周辺を舞台とした長編サスペンス。
好色破邪顕正	小酒井不木	『小酒井不木探偵小説全集第2巻』（本の友社）	☆☆☆	
大雷雨夜の殺人	小酒井不木	『小酒井不木探偵小説全集第5巻』（本の友社） 『大雷雨夜の殺人』（春陽堂書店）	☆☆☆	大雷雨の名古屋で殺人事件が起きる。著者は名古屋を舞台にした探偵小説を多く書いている。
ふたりの犯人	小酒井不木	『小酒井不木探偵小説全集第3巻』（本の友社）	☆☆☆	名古屋鶴舞町に住む私立探偵が事件を調べる。
酩酊紳士	小酒井不木	『小酒井不木探偵小説全集第3巻』（本の友社）	☆☆☆	
名古屋殺人事件	木谷恭介	『名古屋殺人事件』（光風社出版） 『名古屋大通り公園殺人事件』（広済堂出版） 『名古屋大通り公園殺人事件』（ワンツーマガジン社）	☆☆☆	有松しほりの老舗が舞台。栄口サンゼルス広場、七里の渡し、中川区水里町、猫洞通などが出てくる。
確証	小谷剛	『確証』（改造社）	☆☆☆	上前津が出てくる。
尾張からくり京芝居	小橋博史	『尾張からくり京芝居』（東京新聞出版局）	☆☆☆	鉄砲町（現・栄）の紅葉屋重助が主人公。
大正琴一代 花の琴城	小橋博史	『大正琴一代 花の琴城』（中日新聞本社）	☆☆☆	大正琴琴城流宗家家元、鈴木精一（鈴木琴城）の物語。前半は熱田伝馬町が舞台。ほかに八事、大須門前町も出てくる。
花の大正琴	小橋博史	『花の大正琴』（東京新聞出版局）	☆☆☆	大正琴の発明者、森田五郎の物語。森田五郎は大須の旅館の息子。大曾根も出てくる。
花の名古屋甚句	小橋博史	『花の名古屋甚句』（中日新聞本社）	☆☆☆	東海地方の埋もれた民謡を発掘し紹介した川崎瀧雄の物語。千種区豊年町、橋本町に住んでいた。公会堂、中日劇場、愛知文化講堂などが出てくる。
愛知県の秘密 緋色の殺人	斎藤栄	『愛知県の秘密 緋色の殺人』（中央公論社）	☆☆☆	工芸家が名古屋で事故死。現場に食べかけのいろいろときしめんが……。
日美子・名古屋城の謎	斎藤栄	『日美子・名古屋城の謎』（光文社）	☆☆☆	名古屋で起こる殺人事件。名古屋城などが登場。
闇の森心中	潮山長三	『闇の森心中』（講談社）	☆☆☆	名古屋が舞台の江戸時代小説。
尾張春風伝 上・下	清水義範	『尾張春風伝』（幻冬舎）	☆☆☆	徳川宗春が主人公。
川のある街 伊勢湾台風物語	清水義範	『川のある街』（中日新聞社）	☆☆☆	西区が舞台の伊勢湾台風の話。
金鯨の夢	清水義範	『金鯨の夢』（集英社）	☆☆☆	名古屋弁時代小説。
蕎麦ときしめん	清水義範	『蕎麦ときしめん』（講談社）	☆☆☆	東京人から見た名古屋人論。「きしめんの逆襲」も収録。

作品名	著者	掲載されている資料	名古屋度	コメント
やっとかめ探偵団	清水義範	『やっとかめ探偵団』（光文社）	☆☆☆	中川区で駄菓子屋を営むおばあちゃん探偵の活躍。「やっとかめ探偵団」シリーズ、ほかに3作あり。
冬の派閥	城山三郎	『冬の派閥』（新潮社）	☆☆☆	徳川慶勝を指導者に仰いだ幕末の尾張藩の命運。
ご立派すぎて	鈴木輝一郎	『ご立派すぎて』（講談社）	☆☆☆	名古屋が舞台のお見合い小説。
名古屋1997	高井信	『名古屋1997』（徳間書店） 『名古屋の逆襲』（双葉社）	☆☆☆	1997年の鎖国政策を取る架空の名古屋に主人公がタイムスリップ。名古屋弁活用表つき。
尾張葵風姿伝 徳川宗春	高橋和島	『尾張葵風姿伝 徳川宗春』（テレビ愛知）	☆☆☆	
十四歳の遠距離恋愛	嶽本野ばら	『十四歳の遠距離恋愛』（集英社）	☆☆☆	2000年頃の名古屋が舞台、街（店など）の描写がとても細かい。大須、名駅、栄など
スーパーキックグランパス	田中館哲雄	『スーパーキックグランパス』（汐文社）	☆☆☆	児童書。名古屋グランパスエイトを心の支えにがんばるサッカー少年。
街でいちばんの探偵	司城志朗	『街でいちばんの探偵』（光文社）	☆☆☆	都市名は架空だが、プリンセス通り、錦三など名古屋を思わせる地名が出てくる。
悪魔は天使である	辻真先	『悪魔は天使である』（東京創元社）	☆☆☆	通勤先が矢田町。
名古屋城が燃えた日	辻真先	『殺されてみませんか』（双葉社） 『名古屋ミステリー傑作選』（河出書房新社）	☆☆☆	名古屋空襲の日に関わった殺人事件の話。
平和な殺人者	辻真先	『平和な殺人者』（光文社）	☆☆☆	昭和25年の名古屋が舞台。
さよならドビュッシー	中山七里	『さよならドビュッシー』（宝島社）	☆☆☆	庄内川、本山、伏見など名古屋各所が舞台
閨閥	夏樹静子	『閨閥』（文藝春秋） 『名古屋ミステリー傑作選』（河出書房新社）	☆☆☆	
堀川の主たちに会いたくて	七本薫	『堀川の主たちに会いたくて』（風塵社）	☆☆☆	堀川が舞台の、主婦の再生物語。
元禄なごや犯科帳	新家猷佑	『元禄なごや犯科帳』（柏艸舎）	☆☆☆	元禄時代の尾張が舞台
小説二葉御殿	西尾典祐	『小説二葉御殿』（樹林舎）	☆☆☆	名古屋市図書館について記述あり。川上貞奴、福沢桃介
維新を動かした男 小説 尾張藩主・徳川慶勝	野口勇	『維新を動かした男 小説 尾張藩主・徳川慶勝』（PHP研究所）	☆☆☆	
霧の裁き	野村紀光古	『霧の裁き』（シングルカット）	☆☆☆	錦三を舞台にした恋物語。著者は錦三でクラブを経営。
錦三恋物語	野村紀光古	『錦三恋物語』（NKM出版）	☆☆☆	錦三を舞台にした短編集。著者は錦三でクラブを経営。
氷山のごとく	花登筐	『氷山のごとく 1～3』（東京新聞出版局）	☆☆☆	長者町の洋品雑貨商が舞台。1980年にドラマ化。
はしれNO6でんしゃ	浜野卓也	『はしれNO6でんしゃ』（佼成出版社）	☆☆☆	明治31年名古屋市電開通の話。
名古屋・今池界隈	林礼子	『名古屋今池界隈』（鳥影社）	☆☆☆	名古屋・今池
邪しき者	羽山信樹	『邪しき者』（新人物往来社）	☆☆☆	名古屋城下町が舞台の時代小説。
地下水	葉山嘉樹	『葉山嘉樹全集第2巻』（筑摩書房）	☆☆☆	N市鶴見公園は鶴舞公園か？
名古屋悪女物語	平子純	『名古屋悪女物語』（風媒社）	☆☆☆	名古屋駅裏に住むたくましい女性の話。
名古屋花心中	平子純	『名古屋花心中』（中日新聞社）	☆☆☆	中村区、熱田区、八事などが出てくる。
中部を翔る	藤沢茂弘	『中部を翔る』（中日新聞社）	☆☆☆	名古屋コーチン誕生、徳川慶勝の活躍など。近世近代愛知を舞台にした小説集。
銀の電車に乗るまでに	堀田あけみ	『銀の電車に乗るまでに』（海越出版社） 『まほうの電車』（角川書店）	☆☆☆	地下鉄東山線名古屋～一社間の各駅が舞台。
花くらべ	堀田あけみ	『花くらべ』（海越出版社）	☆☆☆	尾張名古屋、徳川宗春の時代

作品名	著者	掲載されている資料	名古屋度	コメント
われも恋う	堀田あけみ	『われも恋う』（角川書店）	☆☆☆	主人公は名古屋の大学生。
夢の中間に	三輪秀彦	『夢の中間（ちゅうげん）に』（集英社）	☆☆☆	時代は市電の走る頃。N市、N駅、N城、鶴池公園の公会堂。N市の夏は暑い…。
数奇にして模型	森博嗣	『数奇にして模型』（講談社）	☆☆☆	鶴舞公園周辺が舞台。
遊女のあと	諸田玲子	『遊女（ゆめ）のあと』（新潮社）	☆☆☆	尾張名古屋を舞台にした時代小説。
名古屋殺人事件	矢島誠	『名古屋殺人事件』（栄光出版）	☆☆☆	名古屋城で変死体が発見される。事件の裏側には伊勢湾台風が関わっている。
徳川宗春 大いなる尾張の挑戦	矢頭純	『徳川宗春』（海越出版社）	☆☆☆	
オフェリアは誰も殺さない	山村正夫	『本州縦断殺人旅行』（双葉社）	☆☆☆	
グッモーエビアン！	吉川トリコ	『グッモーエビアン！』（新潮社）	☆☆☆	スガキヤ、コメ兵など出てくる。
名古屋駅の大時計の下	米本義徳	『名古屋駅の大時計の下』（ろっぽう出版社）	☆☆☆	主人公が国鉄の職員で名古屋駅に勤める。元熱田図書館長の解説あり。
秘花	連城三紀彦	『秘花』（新潮社） 『秘花』（東京新聞出版局）	☆☆☆	中村遊郭が第二部の舞台。著者が名古屋出身。
残酷な高原の朝	和久俊三	『呪いの紙草履』（角川書店） 『呪いの紙草履』（光文社）	☆☆☆	赤かぶ検事は名古屋出身で名古屋弁。「赤かぶ検事」シリーズの他の話でも名古屋の思い出を語っていることがある。
ショートストーリー名古屋		『ショートストーリー名古屋』（ショートストーリー名古屋実行委員会）	☆☆☆	名古屋を舞台としたショートストーリーコンテストに選ばれた作品を収録。
中学生日記		『中学生日記』（日本放送出版協会） 『ポプラ社版NHK中学生日記』（ポプラ社）	☆☆☆	ご当地文学。
沈淪	郁達夫	『現代中国文学全集第14巻』（河出書房） 『郁文達夫留東遺芳』（中日新聞社）	☆☆	N市が舞台。鶴舞公園、A神宮など
雲霧仁佐衛門	池波正太郎	『雲霧仁佐衛門』（新潮社） 『完本池波正太郎大成17』（講談社）	☆☆	尾張が舞台の捕り物帳
尾張路殺人哀歌	石川真介	『尾張路殺人哀歌』（青樹社）	☆☆	主人公の夫が熱田の病院勤務。名古屋城、名城公園、名駅、栄などが出てくる。
逃亡くそたわけ	絲山秋子	『逃亡くそたわけ』（中央公論新社）	☆☆	主人公が名古屋出身。あだなが「なごやん」
ペラがえる	うどんあこ	『ペラがえる』（佼成出版社）	☆☆	絵本。名古屋弁を話すカエル。
如露	宇野浩二	『現代日本文学大系第46』（筑摩書房）	☆☆	宇野浩二『宇野浩二全集8巻』の短編「思ひ川」とリンクしている
勝利投手	梅田香子	『勝利投手』（河出書房新社）	☆☆	中日ドラゴンズにスカウトされた甲子園エースの活躍
熱田狐	梅本育子	『花菖蒲』（光風社出版）	☆☆	熱田、堀川、庄内川が出てくる時代小説。
名古屋ベネチアングラス殺人事件	大谷羊太郎	『名古屋ベネチアングラス殺人事件』（有楽出版社）	☆☆	名古屋港にあったイタリア村の記述あり。
名古屋オリンピック	奥田英朗	『東京物語』（集英社）	☆☆	主人公は名古屋出身。
奥さんの家出	国枝史郎	『国枝史郎探偵小説全集』（作品社）	☆☆	名古屋市内にある遊園地が舞台。
通夜の人々	小酒井不木	『小酒井不木探偵小説全集第1巻』（本の友社）	☆☆	鶴舞の探偵事務所。
女流	小島信夫	『小島信夫全集第2』（講談社）	☆☆	前半の舞台は名古屋
Hは人のためならず	後藤みわこ	『Hは人のためならず』（講談社）	☆☆	児童書。架空の名古屋の高校が舞台。Hは奉仕活動のこと。
鳩侍始末	城山三郎	『城山三郎全集10巻』（新潮社）	☆☆	尾張藩の鳩の世話係が主人公。
太郎物語 大学編	曾野綾子	『太郎物語 大学編』（新潮社）	☆☆	名古屋の「北川大学」に入学。

作品名	著者	掲載されている資料	名古屋度	コメント
津波	高嶋哲夫	『津波』（集英社）	☆☆	東海・東南海・南海地震が同時発生。津波で大被害。
白い手をした男	高見順	高見順全集第八巻(勁草書房)	☆☆	
急行エトロフ殺人事件	辻真先	『急行エトロフ殺人事件』（講談社）	☆☆	栄、石川橋、武平町など出てくる。
青春のアライ文具店	中沢天童	『青春のアライ文具店』（エフエー出版）	☆☆	名古屋駅や栄が登場する。
アトランティス名古屋に帰る	福井大記	『アトランティス名古屋に帰る』（エフエー出版）	☆☆	名古屋沖に新大陸出現。
知床一名古屋〇殺人の罟	福田洋	『知床一名古屋〇殺人の罟』（広済堂出版）	☆☆	事件の捜査で名古屋に行く。
尾張瀬戸殺人事件	碧春海	『尾張瀬戸殺人事件』（鳥影社）	☆☆	メインの舞台は瀬戸だが、大須観音も出てくる。
1980アイコ十六歳	堀田あけみ	『1980アイコ十六歳』（河出書房新社）	☆☆	名古屋弁小説として名高い。著者が名古屋出身。
空とぶこども共和国	本田忠勝	『空とぶこども共和国』（愛知書房）	☆☆	児童書。敗戦直後の名古屋の子どもを描く
初恋	森田草平	『明治大正文学全集第29巻』（春陽堂）	☆☆	中村遊郭、笹島などが出てくる。
恋せども愛せども	唯川恵	『恋せども愛せども』（新潮社）	☆☆	主人公姉妹の姉が名古屋在住。名鉄セブン前ナナちゃん人形で待ち合わせ。
不正な処理	吉原清隆	『不正な処理』（集英社）	☆☆	主人公が大須、愛知県図書館、鶴舞中央図書館に行く。
和時計の館の殺人	芦辺拓	『和時計の館の殺人』（光文社）	☆	愛知県内で事件が起こる。登場人物の警部補が名古屋に詳しい。
古き木に花ひらく時に	阿部知二	『未刊行著作集13阿部知二』（白地社）	☆	解説に「このN市はほぼ名古屋と推定して大過ない」とあり。
B. A. D.	綾里けいし	『B. A. D.』（エンターブレイン）	☆	愛知県名古屋。著者が名古屋出身。
秘め事	有川浩	『ラブコメ今昔』（角川書店）	☆	名古屋港（水族館、南極観測船ふじ）でデート
ファイターパイロットの君	有川浩	『クジラの彼』（角川書店）	☆	名古屋駅前のデパートで買物。
高野聖	泉鏡花	『泉鏡花集成4』（筑摩書房）	☆	冒頭、名古屋駅で鮎を買う。
へたれ	絲山秋子	『ニート』（角川書店）	☆	主人公が名古屋駅できしめんを食べる。
葉桜の季節に君を想うということ	歌野晶午	『葉桜の季節に君を想うということ』（文藝春秋）	☆	名古屋に人を探しに来る。中央卸売市場、柳橋中央市場、守山区市場、西区市場木町などが出てくる。
平家伝説殺人事件	内田康夫	『平家伝説殺人事件』（角川書店） 『平家伝説殺人事件』（広済堂出版） 『平家伝説殺人事件』（飛天出版）	☆	名古屋で調査。愛知県警、市立図書館、地元新聞社などで調べようとする。
思ひ川	宇野浩二	『宇野浩二全集第8巻』（中央公論社） 『日本文学全集30』（集英社）	☆	
猟奇の果	江戸川乱歩	『江戸川乱歩推理文庫9』（講談社）	☆	鶴舞公園で意外な人物に再会。
中古車販売店の女	奥田英朗	yomyom vol.13(2009/12)	☆	
中村遊郭	尾崎士郎	『中村遊郭』（文藝春秋新社）	☆	関ヶ原付近に旅行に行く。帰りに熱田を通り、中村遊郭に行く。
雪野	尾辻克彦	『雪野』（文芸春秋）	☆	大曾根、鶴舞公園などが出てくる。
君たちに明日はない	垣根涼介	『君たちに明日はない』（新潮社）	☆	主人公が名古屋に2週間出張。名古屋駅ロータリー、オアシス21、栄サーブ像などが出てくる。自動車メーカーはトヨタ。
明治美人館	川口松太郎	『明治美人館』（矢貴書店）	☆	
役者 小説花柳章太郎	川口松太郎	『役者』（新潮社）	☆	戦争末期、御園座にて慰問公演。

作品名	著者	掲載されている資料	名古屋度	コメント
路草	川崎長太郎	『川崎長太郎自選全集第1』(河出書房新社)	☆	有名な鮎のある城があるN市が舞台。M百貨店など登場。
一人二役	河本準一	『一人二役』(ワニブックス)	☆	お笑いコンビ「次長課長」の自伝的小説。少年時代の舞台が桶狭間。
首都消失	小松左京	『首都消失』(徳間書店) 『首都消失』(角川春樹事)	☆	冒頭、名古屋駅で弁当を買う。
明日も無宿の次男坊	笹沢佐保	『代表作時代小説昭和54年度第25巻』(東京文芸社)	☆	「木枯らし紋次郎」シリーズ
若き日の旅	里見弴	『若き日の旅』(養徳社) (甲鳥書林)	☆	冒頭、熱田神宮に行く。
きよしこ	重松清	『きよしこ』(新潮社)	☆	社会見学でテレビ塔に行く。
眠狂四郎孤剣五十三次	柴田錬三郎	『眠狂四郎孤剣五十三次』(新潮社)	☆	東海道を西に向かい、各宿駅で待ち受ける刺客を倒していく。
家	島崎藤村	『現代日本文学館10』(文芸春秋)	☆	
夜は千の鈴を鳴らす 東京一名古屋駅90秒の謎	島田荘司	『夜は千の鈴を鳴らす 東京一名古屋駅90秒の謎』(光文社)	☆	名古屋駅が出てくる。
パワー系181	墨谷渉	『パワー系181』(集英社)	☆	あんかけスパ、名古屋コーチンが出てくる。登場人物が「名古屋の人」なので舞台と推測できる
アサツテの人	諏訪哲史	『アサツテの人』(講談社)	☆	N区浮沼の団地が舞台→西区の浮野町と中沼町をあわせた架空の地名か。
尾張名古屋の夜はふけて	瀬川貴次	『聖霊狩り 邪竜復活!?!』(集英社)	☆	ライトノベル。同時収録の短編が名古屋が舞台。繁華街で鶏の霊と対決する。
場所	瀬戸内寂聴	『場所』(新潮社)	☆	名古屋駅ホームに降りる。自伝的小説。
倒れた花瓶	徳田秋声	『徳田秋声全集第15巻』(八木書店)	☆	解題により名古屋が舞台と思われる。
ウラン鉱の魔女	中園英助	『鮮血ラブコール』(光文社) 『名古屋ミステリー傑作選』(河出書房新社)	☆	
三四郎	夏目漱石	『明治の文学第21巻』(筑摩書房) 『漱石全集第5巻』(岩波書店) 『三四郎』(新潮社)	☆	冒頭、名古屋で宿泊
愛と死の飯田線	西村京太郎	『十津川警部捜査行 東海特急殺しのダイヤ』(実業之日本社)	☆	名古屋で事件が起こる。
十津川警部幻想の信州上田	西村京太郎	『十津川警部幻想の信州上田』(講談社)	☆	名古屋で事件が起こり、十津川警部が中警察へ調査に行く。
誰が殺したか	葉山嘉樹	『葉山嘉樹全集第1巻』(筑摩書房)	☆	主人公の家が名古屋市西部。
牢獄の半日	葉山嘉樹	『葉山嘉樹全集第1巻』(筑摩書房)	☆	名古屋刑務所が舞台。
トキオ	東野圭吾	『トキオ』(講談社)	☆	
武士道シックスティーン	誉田哲也	『武士道シックスティーン』(文藝春秋)	☆	女子高生、剣道の全国大会が名古屋で行われる。
今池電波聖ゴミマリア	町井登志夫	『今池電波聖ゴミマリア』(角川春樹事務所)	☆	今池が舞台のSF小説。
松平長七郎旅日記	村上元三	『松平長七郎旅日記 東海・西海編』(光文社) 『松平長七郎旅日記』(東京文芸社)	☆	東海道を旅していて、名古屋も通る。
東の果つるところ	森絵都	『東と西 1』(小学館)	☆	「月とエビフライ」という映画のロケを名古屋で行っている。